

株式会社 松屋 2月売上速報

※数値は速報値ですので、毎月中旬に発表する確定値と誤差が生じることがあります。

店名	売上高 対前年 増減率(%)	概況
銀座本店	-1.9	銀座店は、高価格帯のラグジュアリー婦人服ゾーンにおいて春物コートやジャケット等の春物商材が堅調に動き、売上高は前年を上回りましたが、上旬にミセスゾーンを一部改装し面積を縮小したため、婦人衣料品全体の売上高は前年に届きませんでした。免税売上高につきましては、月初旬の中国・春節(2/4～10)においても、化粧品が引き続き全体を強く牽引、加えて、時計も前年に対して約1.8倍の伸びを示したことで春節期間内の免税売上高は前年を越えたものの、月を通してバッグ・靴等の一般品の売上高がやや苦戦し、月末では僅かに前年を下回りました。一方、半期に一度の顧客様特別招待会「松美会・春の感謝祭」においては、春物の新作が好調に推移し単日で10億円に迫る売上となりましたが、上記の婦人衣料品の改装等が要因となり、店全体の売上高は僅かに前年を下回りました。 浅草店は、主力となる食料品が苦戦し、店全体の売上高は前年に届きませんでした。

※ 上記「銀座本店」の数値は、「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。

※ 「2019年2月売上報告」は、3/15(金)15時の開示を予定しております。

(ご参考)

銀座店	-1.7	「銀座店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。
浅草店	-5.4	「浅草店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。